

災害福祉教育 ベーシック研修 2025

— 災害福祉の理解を深めるために —

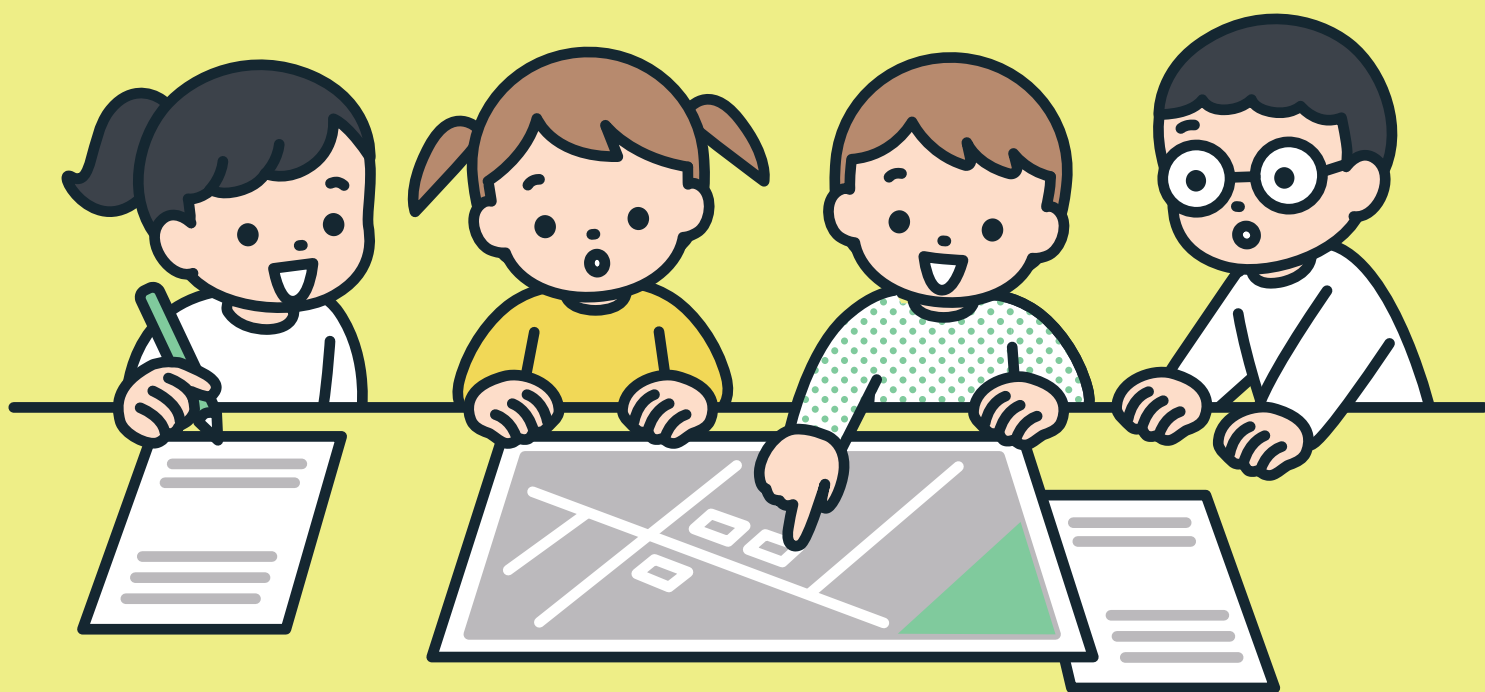
【オンデマンド講義配信】

2026年1月～2月：オンデマンド講義配信

【演習（参集）】

2026年2月9日（月） 10時～17時（9:30 受付開始）

東京海洋大学 白鷹館 2階多目的スペース



災害福祉のリアルを理解し、教育に活かす

近年、地震・豪雨・台風・土砂災害・竜巻などの自然災害は頻発し、被害の拡大が続いています。こうした状況のなか、生活支援・心理的支援・制度活用など、福祉の視点から「救える命」を支える専門職である社会福祉士・精神保健福祉士への期待は一層高まっています。新カリキュラムにおいて災害福祉が必修項目とされたことも、その重要性の高まりを示すものです。

本連盟では、これまでも被災地で活動する会員校の学生ボランティアや教職員のサポートを実施しています。令和6年能登半島地震では、全国の会員校の学生や教職員が被災地へボランティアに足を運ぶ仕組みとして「DWAS-JAPAN※」を立ち上げ、北陸学院大学（石川県金沢市、本連盟会員校）と連携し、全国の学生ボランティア・教職員による支援活動を後方より支援してきました。

※DWAS-JAPAN は“Disaster Welfare Assistance Student”の略称で、災害時の福祉支援に取り組む学生を意味します。

こうした現場の経験を教育へつなげていくことがより求められ、災害現場で求められる福祉専門職の役割とその育成に向けた災害福祉教育の重要性が高まる中、このたび、養成校教員の皆様を対象に、災害福祉の現場理解を深め教育に生かすための基礎研修を企画しました。

被災地での支援経験が豊富な講師をお招きし、現場のリアリティに根ざした講義と演習を展開します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

【講義】 オンデマンド配信

2026年1月より順次公開予定、1科目30分の講義を展開いたします。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 概論：災害福祉のリアルを知る | 講師：山本克彦先生（日本福祉大学） |
| 2. 展開：時系列で捉える災害福祉 | 講師：後藤至功先生（佛教大学） |
| 3. 対象：分野別で捉える災害福祉 | 講師：新井利民先生（立正大学） |
| 4. 連携：ニーズで捉える災害福祉 | 講師：篠原辰二先生（Wellbe Design） |

【演習】 参集

災害に関する授業実践（カードワーク、フォトランゲージ、ディスカッション）を演習形式で学びます。

日時：2026年 2月9日（月） 10:00～17:00 ／受付9:30開始

場所：東京海洋大学 白鷹館 2階多目的スペース（右記二次元コードをご参照ください）

講師：篠原辰二先生（Wellbe Design）、山本克彦先生（日本福祉大学）

- ◆演習終了後、18時頃より会場近辺で交流会の実施を予定しております。
詳細はお申込みいただいた方へ別途ご案内いたします。

【定員】 60名（先着順）

【対象】 社会福祉士・精神保健福祉士の養成課程の教員

【参加費】 20,000円（税込み・演習参加費込み・教材費別途）



教材について

本研修では以下の書籍を教材として使用します。各自にてご購入の上ご受講ください。

「図解でみる災害福祉」（中央法規）

「最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6

地域福祉と包括的支援体制」（中央法規）

「最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法〔社会専門〕」（中央法規）

【主催】



日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

お申し込みはこちら

お申し込みには オンライン研修システム manable（マナブル）へのご登録が必要です。
右記二次元コードよりシステムへアクセスの上お申し込みください。

